

21世紀を視野に

三浦市社会福祉協議会（山森義夫会長）は本年度から、来年四月に導入が迫った介護保険制度や多様化する福祉ニーズに対応できるような組織改革に乗り出している。「職員の意識改革を進め、住民参加をキーワードに取り組んでいきたい」と話している。

市社協では昨年七月、組織改革にあたり、関係団体の代表者や福祉サービスマネージャーなどをメンバーとする組織体制整備方針策定委員会（石渡幸男委員長）を設置。六回にわたり検討を重ね、報告書をまとめた。市社協ではこれに基づき住民に期待される社協を「目指していく方針だ。報告書では、組織整備の

より期待される存在目指し

三浦市社協が組織改革へ

基本的な考え方として、①住民に開かれた社協づくりの推進②総合的な生活支援の推進③住民参加による福祉活動の推進④総合的な生活支援の推進⑤総合的な生活支援の推進⑥総合的な生活支援の推進⑦総合的な生活支援の推進⑧総合的な生活支援の推進⑨総合的な生活支援の推進⑩総合的な生活支援の推進⑪総合的な生活支援の推進⑫総合的な生活支援の推進⑬総合的な生活支援の推進⑭総合的な生活支援の推進⑮総合的な生活支援の推進⑯総合的な生活支援の推進⑰総合的な生活支援の推進⑱総合的な生活支援の推進⑲総合的な生活支援の推進⑳総合的な生活支援の推進㉑総合的な生活支援の推進㉒総合的な生活支援の推進㉓総合的な生活支援の推進㉔総合的な生活支援の推進㉕総合的な生活支援の推進㉖総合的な生活支援の推進㉗総合的な生活支援の推進㉘総合的な生活支援の推進㉙総合的な生活支援の推進㉚総合的な生活支援の推進㉛総合的な生活支援の推進㉜総合的な生活支援の推進㉝総合的な生活支援の推進㉞総合的な生活支援の推進㉟総合的な生活支援の推進㊱総合的な生活支援の推進㊲総合的な生活支援の推進㊳総合的な生活支援の推進㊴総合的な生活支援の推進㊵総合的な生活支援の推進㊶総合的な生活支援の推進㊷総合的な生活支援の推進㊸総合的な生活支援の推進㊹総合的な生活支援の推進㊺総合的な生活支援の推進

①では、介護保険に含まれないサービスも提供できるような努力、ライフパートナーによる巡回相談や住宅改造相談、法律相談などを充実させるほか、財産保全管理サービスの実施も念頭で見直すとともに、サービに置いている。こうした事業展開を支える積極的な開示し、透明性を確保に努める。②は、ボランティア活動についての情報提供や相談業務に力を入れ、活動拠点の整備も進めしていく。

介護保険導入や ニーズの多様化